

富士フィルムのメディカルシステム事業と 今回の買収の目的について

富士フィルムホールディングス株式会社

代表取締役社長・CEO

古森 重隆

2011年12月15日

重点事業：メディカルシステム/ライフサイエンス

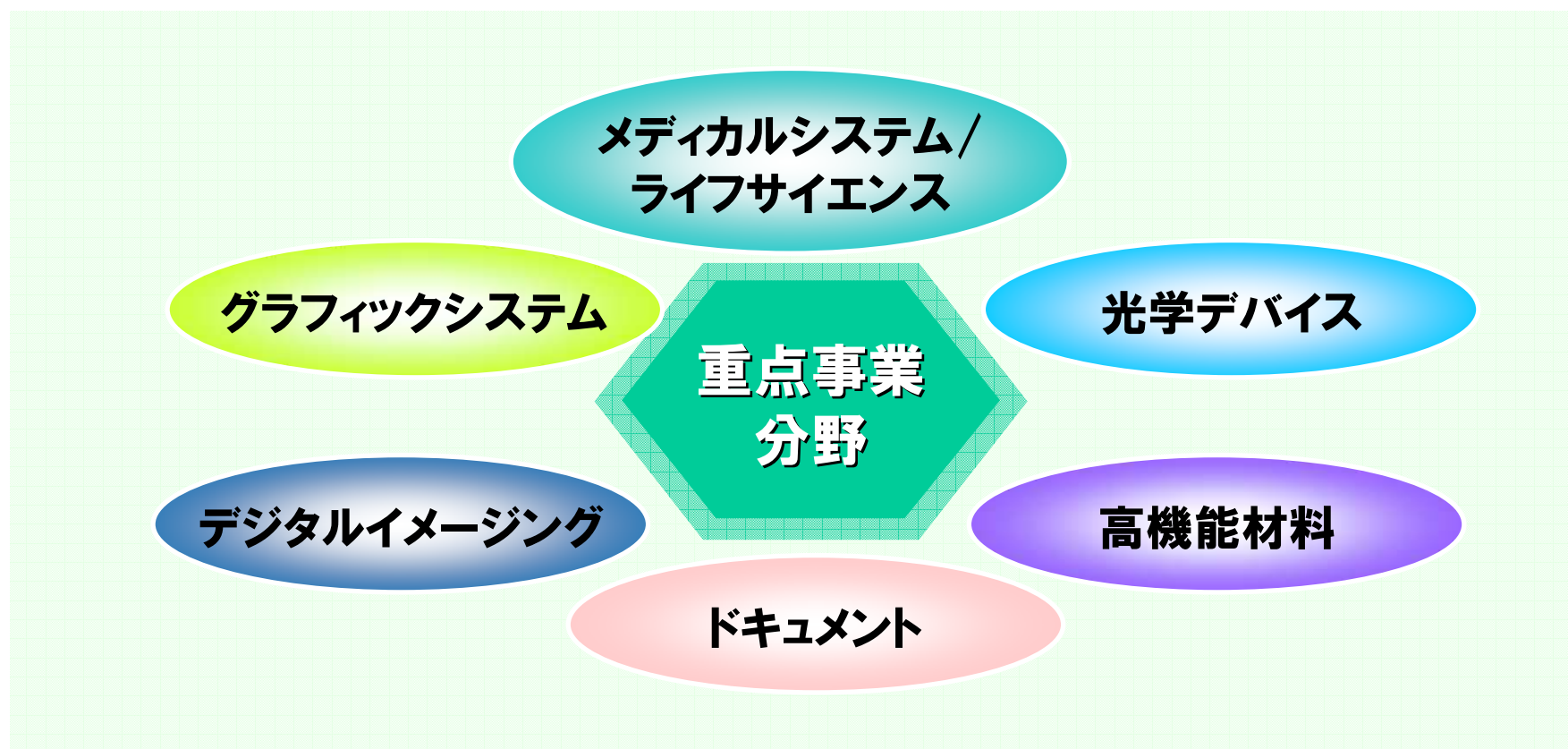
【当社の成長戦略】

重点事業の成長戦略の推進

メディカルシステム・ライフサイエンス分野での
大幅な成長を実現

グローバル展開の加速

新興国での売上・利益拡大



メディカルシステム事業の歴史

1934
創業

1936

XレイFILM

wet

dry



1971

内視鏡



1981

デジタルX線画像診断システム (FCR)



1984

血液診断システム (ドライケム)



1989

IMAGER



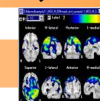
1999

医用画像情報システム (SYNAPSE)



2006

放射性診断薬



2006

超音波画像診断装置



2006

スキンケア化粧品



2006

機能性食品



2007

直接変換方式FPD



2008

医薬品開発・製造



2010

医薬品販売



2010

再生医療



分野

診断領域

予防領域

治療領域

総合ヘルスケアカンパニーに事業を拡大

予防

機能性食品



機能性化粧品



事業拡大

診断

X線画像診断(FCR/DR/フィルム)



内視鏡



放射性診断薬



血液診断システム



事業拡大

治療

医療用医薬品



富山化学工業

放射性医薬品

富士フィルムRIファーマ

バイオ医薬品

(抗体医薬研究)
 ヘルセウスプロテオミクス
 (再生医療)*業務提携 41%出資
 ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング
 (バイオ医薬品受託製造)
 富士フィルムダイオシンス
 (バイオシミラー)
 協和発酵キリンとの合併会社

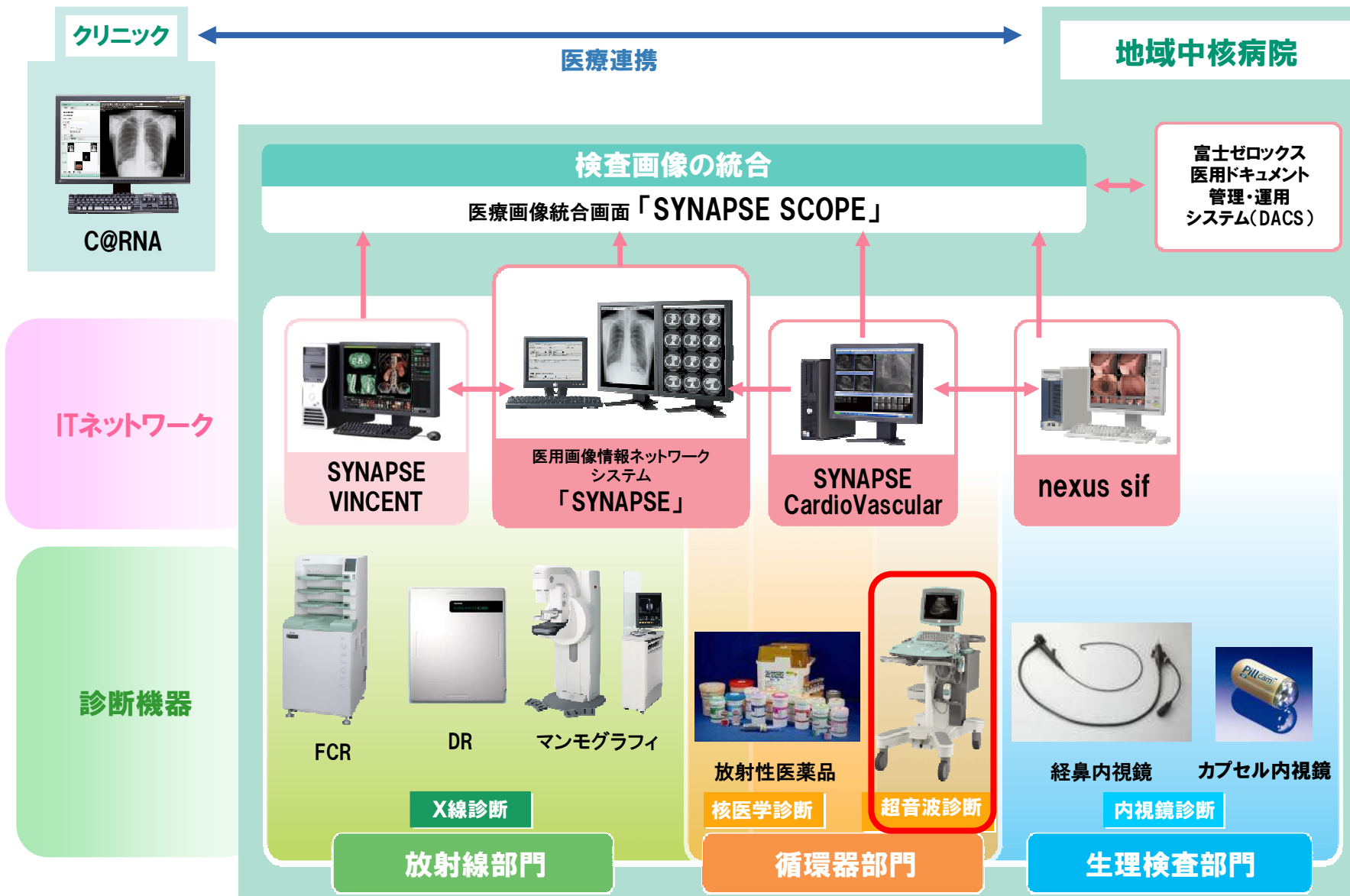
医薬品原薬・中間体

富士フィルムファインケミカルズ

医療用医薬品開発・販売

富士フィルムファーマ

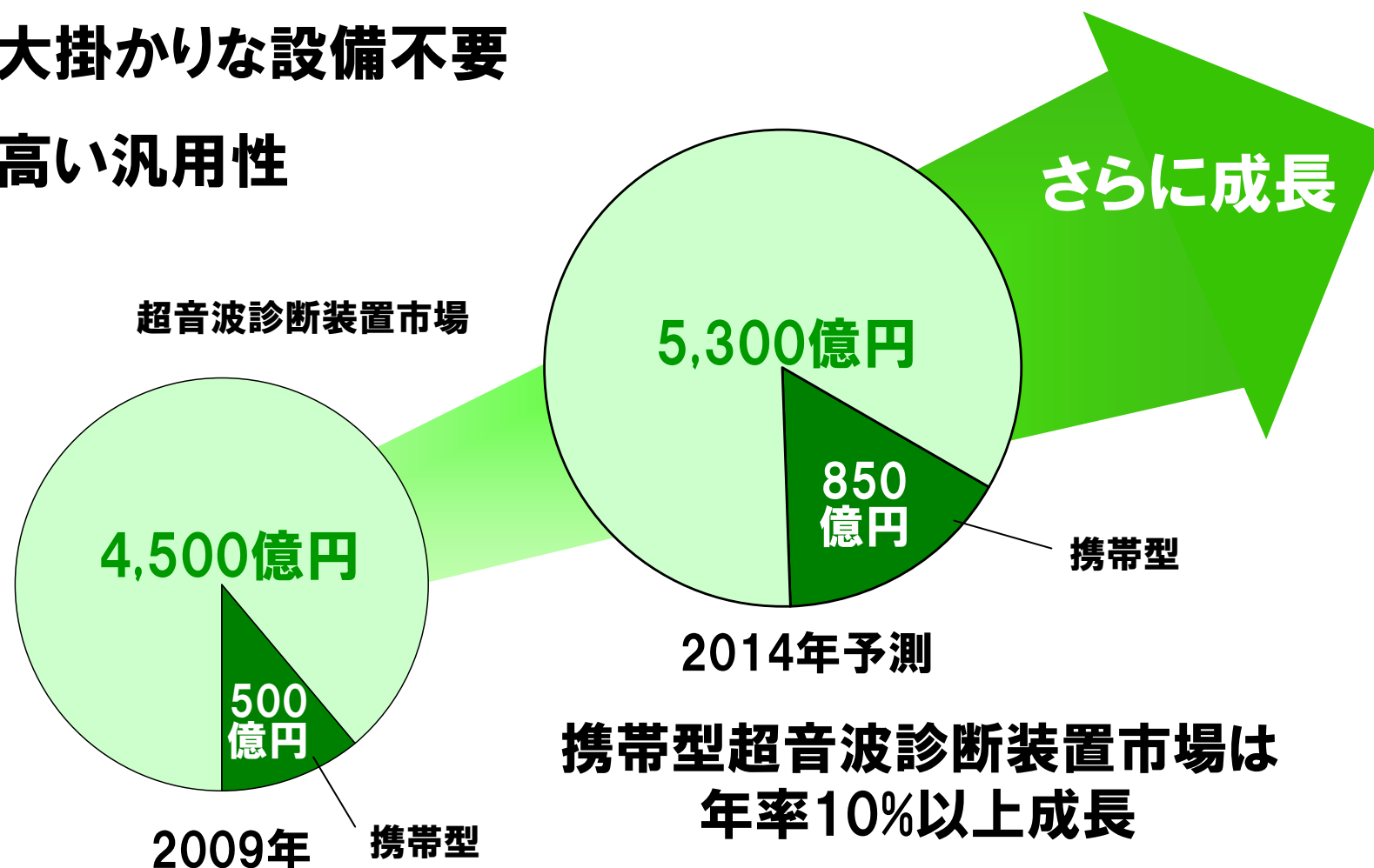
診断事業



成長性の高い超音波診断装置市場

出典：InMedica The World Market for
Ultrasound Imaging Equipment

- 非侵襲性
- 大掛かりな設備不要
- 高い汎用性



富士フイルムグループの企業理念

**わたしたちは、先進・独自の技術をもって、
最高品質の商品やサービスを提供する事により、
社会の文化・科学・技術・産業の発展、
健康増進、環境保持に貢献し、
人々のクォリティ オブ ライフのさらなる向上に寄与します。**

携帯型超音波診断装置大手 米国SonoSite, Inc. 買収について

富士フイルム株式会社
取締役常務執行役員
メディカルシステム事業部長

玉井 光一

2011年12月15日

SonoSite, Inc. 概要



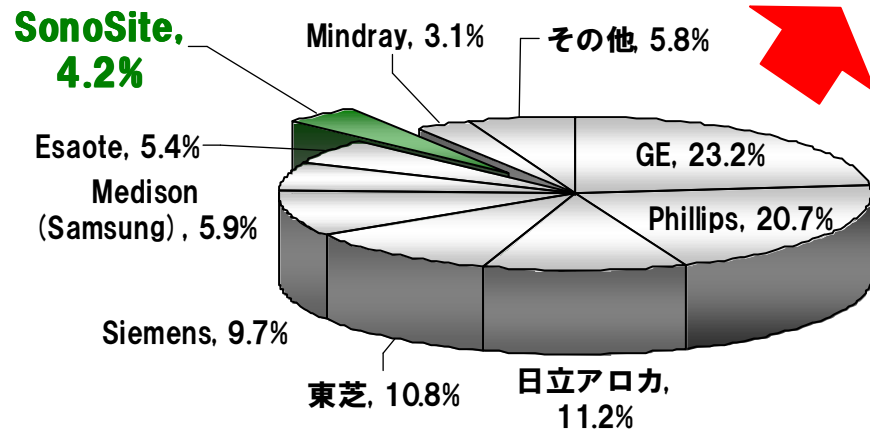
会社名:	SonoSite, Inc.
設立:	1998年4月6日
本社所在地:	米国 ワシントン州 Bothell
代表取締役社長 & CEO:	Kevin Goodwin
売上(2010年度):	275百万米ドル
営業利益(2010年度):	27百万米ドル
従業員数:	878名 (2010年12月31日時点)
主な拠点:	米国、カナダ、オーストラリア、フランス、イタリア、 スペイン、イギリス、インド、日本



超音波機器の世界市場とシェア

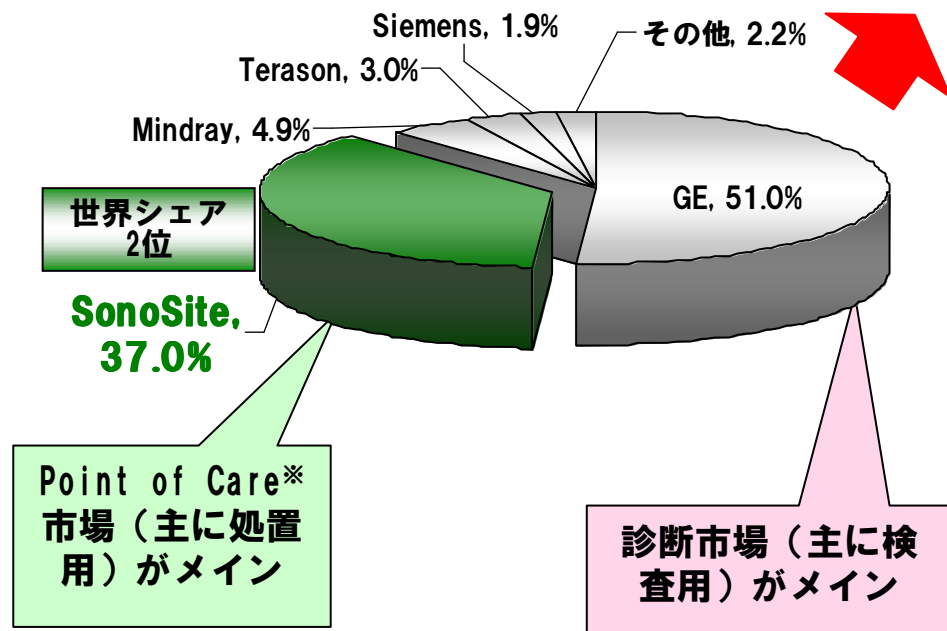
全超音波市場での世界シェア (2009年度)

3.3%/年
成長



携帯型超音波市場での世界シェア (2009年度)

10.7%/年
成長



※Point of Care (POC)

患者がいる医療現場で、直接医師が
治療方針の判断・処置を行うこと

SonoSiteの特徴・強み

携帯型超音波診断装置市場での高いシェア

顧客ニーズ開拓力・商品企画力において圧倒的な強み

POC市場の先駆者であり、携帯型シェアで世界2位

小型・堅牢化技術

超小型軽量化に寄与するASIC (特定用途向け集積回路)設計技術

低コストかつ安定的な生産

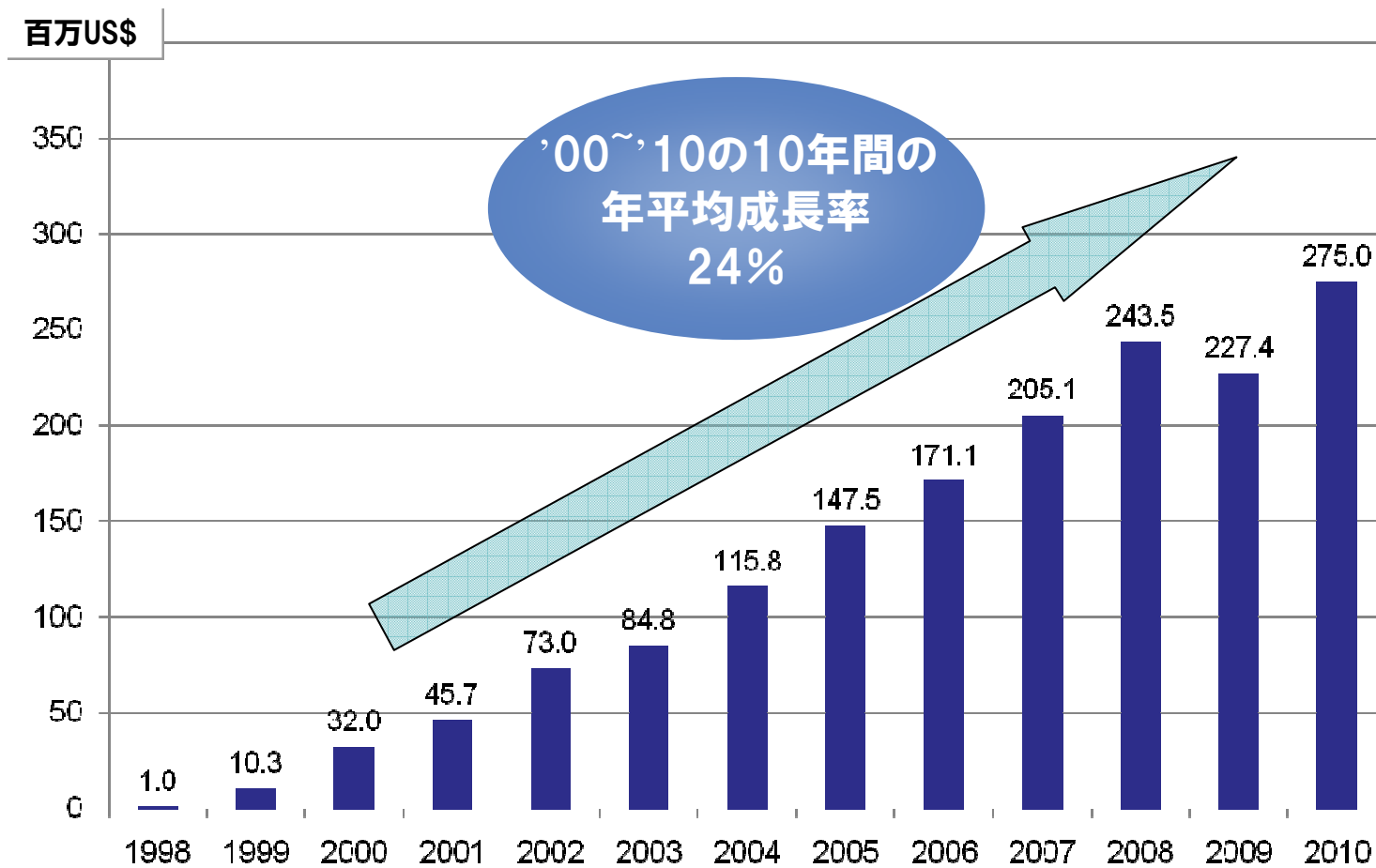
プローブの革新的な製造技術とシンプルな統一プラットフォーム

高い将来技術を保有

・新たな診断価値を生み出す光超音波

・高精細な高周波プローブ

SonoSite社の売上高推移



期待されるシナジー

1

開発

SonoSiteの集積回路設計技術、業界最先端の高周波プローブ、光超音波と、当社の画像・レーザー技術を組み合わせ、小型・高画質や高付加価値を実現

2

生産

SonoSiteの革新的な製造技術による低コストの統一プラットフォームを、診断・POCの両市場に搭載し、価格競争力のある商品を展開

3

販売

両社のワールドワイドの医療販売拠点や代理店網の相互活用

買収の概要

- 買収方法:** 当社米国持株会社の下に設立される買収子会社による SonoSite 普通株式の公開買付け
- 買収価格:** 1株当たり54米ドル
12月14日終値42.24ドルに対して27.8%、
株式取得費用(100%取得の場合)
約995百万米ドル(約766億円※)
- 買付期間:** SonoSiteとの合意日の翌日(米国時間2011年12月16日)から 20営業日以内に開始され、開始後21営業日まで実施 (期間延長の可能性あり)
- 備考:** 両社の取締役会は、全会一致で本買収に賛同

※77円/ドルで換算

FUJIFILM

将来見通しに関する注意事項

本プレスリリースは、当社及びソノサイト社の見通し、目標、計画、戦略などの将来に関する記述が含まれております。これらの将来に関する記述は、当社またはソノサイト社が現在入手している情報に基づく判断及び仮定に基づいており、判断や仮定に内在する不確定性及び今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、将来における当社及びソノサイト社の実際の業績又は展開と大きく異なる可能性があります。これらの将来に関する記述は、「考えます」、「期待します」、「見込みます」、「計画します」、「意図します」、「はずです」、「するつもりです」、「予測します」、「将来」、その他、これらと同様の表現、又は特に「戦略」、「目標」、「計画」、「意図」などに関する説明という形で示されています。多くの要因によって、本文書に述べられている「将来に関する記述」と大きく異なる実際の結果が、将来発生する可能性があります。かかる要因としては、(i) 両社が本案件の条件に関し一部あるいは完全に合意できないこと、(ii) 本案件に必要な株主総会の承認が得られないこと、(iii) 本案件の完了に必要とされる規制上の条件又は他の条件が充足されないリスク、(iv) 本案件の当事者に関連する法制度、会計基準等又はその他の経営環境の変化が及ぼす影響、(v) 事業戦略を実行する上での課題、(vi) 金融の不安定性及び他の一般的経済状況又は業界状況の変化が及ぼす影響、及び(vii) 本案件の完了に関するその他のリスクが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

追加情報

本プレスリリースに記載されている本公開買付けはまだ開始されていません。本プレスリリースは情報を提供するためのものであり、ソノサイト社の普通株式の買付けの応募、又は売付けの募集を勧誘するものではありません。公開買付けは、富士フィルムホールディングスが米国証券取引委員会(以下「SEC」)に届け出るSchedule TOによる公開買付説明書(買収提案、送達状、その他の関連公開買付け文書を含む。)に基づいて実施されます。随時修正される可能性のあるこれらの資料には、買付けの条件などの重要な情報が含まれることから、入手可能となった際には、公開買付けに関する決定をされる前に熟読されるようお願いいたします。投資家および株主は、富士フィルムホールディングスが届け出るこれらの資料(入手可能となった以降)およびその他の文書を、SECのウェブサイト<http://www.sec.gov>または富士フィルムホールディングスのウェブサイト <http://www.fujifilmholdings.com/en/investors/index.html>から入手することができます。